

ハイチ情勢に関する閣僚会合
(1月22日(土) 午前1:00—午前4:00)

ジョリー・カナダ外務大臣、
御列席の皆様、

おはようございます。

日本国外務副大臣の小田原潔です。ハイチの安定化に貢献するために、関係国、国際機関が一堂に会し議論する場に参加でき、光栄です。本会合を開催されたジョリー外相をはじめとするカナダ政府の皆様に敬意を表します。

日本とハイチは、基本的価値を共有するパートナーであり、人道状況に鑑み、これまでハイチの社会基盤強化に資するべく、保健、教育、食糧、防災分野等で支援を行ってきました。昨年8月にハイチ西部で発生した地震被害に対しては、緊急援助物資を供与したほか、WFP、IOM、UNICEF及びIFRCを通じた325万ドルの緊急無償資金協力を実施しました。また、新型コロナウイルス対策として医療機材供与やコールドチェーン支援の他、保健医療システム強化のためにUNDP及びUNOPSを通じた協力を実施中です。

また、日本は、2010年のハイチ震災直後から自衛隊を3年間国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)に派遣するとともに、保健、教育、農業・食料安全保障、防災等の分野において、総額3.2億ドル超の復興・開発支援を実施するなど、様々な形でハイチの安定化を支援してきました。

さらに中長期的に経済的安定に資する支援として、日本は、ポルトープランス市内の2つの橋梁の掛け替えを実施しています。安全性・耐久性に優れた「質の高いインフラ整備」により、物流を促進・円滑化し、経済の活性化に役立つことを期待します。

ハイチが直面している喫緊の課題は治安の回復です。ハイチ国家警察の機能強化が急務であり、日本は国家警察に対して消防車4台及び救急車3台を供与するプ

プロジェクトを実施しました。また、警察の機能強化のためには、装備面のみならず、労働環境の改善も有効との考えから、日本は警察職員のための住宅建設計画への協力についても実施を承認しています。

ハイチにおいて治安の安定の確保を目指すことは、自由で、公平で、透明性のある選挙の実施の前提でもあります。日本はこれまでハイチにおける選挙の際に、国際機関を通じて、選挙関連用品の調達を行うなど、円滑な選挙の実施を支援してきました。今後の政治プロセスにおいても、日本としてどのような支援ができるかを検討していく所存です。

ハイチの安定化のためには、国際的な連携と共働が不可欠であり、本会合での議論を通じ、ハイチのみならず地域全体の平和・安定のための協力が一層強化されることを祈念します。

ありがとうございました。